

米松乾燥材1万5000円値上げ

8月1日受注分から

中国木材

中国木材(広島県呉市、堀川智子社長)は6月20日の値上げに続いて、8月1日受注分から「ドライ・ビーム」や米松乾燥小割1万5000円高(立方尺)をはじめ、米松製品や集成材を値上げする。産地価格、フレートともに高値が続ぎ、先高観が募る。

米松丸太価格は7月トも上昇に転じている。積み高が30^{ドル}上がり、月ごとに上がる様相だ。国ワシントン州など西高値に張り付くフレート

録的な猛暑と高温に見舞われ、小さな火事が各所で見られ始めた。例年勃発する大きな山火事は8月になるが、今年には雨がほとんど降らず、大規模な山林火災の可能性が高い。また、連日40度を超える異常気象のため伐採作業は午前中のみ、港の

荷役作業も進まずに船が滞船し、6月はフリートが前月比30%上がったという。今後丸太仕入れコストの値上がりが見込まれる。例年夏場の建築は進みづらいが、特に今年は建て方も一服気味。

値上げ幅(立方尺)は、ドライ・ビーム(平角・正角)米松乾燥小割(タルキ・筋違)1万5000円高、米松グリーン(角・平角)1万円高、同(タルキ・筋違)1万2000円高、米松集成材(E135)2万円高、杉集成管柱は7月に1万円上げており、さらに今回1万5000円高、「ハイブリッド・ビーム」は2万5000円高。

同社の主力はドライ・ビームで、増産に力を入れているが、需要増に追い付かず、先行きの在庫不足を懸念して引き続き受注を制限している。高値だが米松丸太の供給は順調。しかし、国産材工場は杉材の集荷が厳しくなり、生産量は通常の80%ペース。ラミナ生産、集成材の製造に影響が出ている。

今回の値上げで8月の市場相場は、ドライ・ビーム平角9万2000円、4000円、同正角10万4000円、6000円、米松乾燥小割10万6000円、8000円、米松グリーン(角・平角)7万7000円、同(タルキ・筋違)7万6000円に付く。

0000円、米松集成材(E135)19万円、杉集成管柱11万1000円、4000円、ハイブリッド・ビーム11万5000円、7000円に付く。